

令和8年度 体育指導力アップ研修会

6月9日に豊田南小学校において、体育指導力アップ研修会が行われました。講師に袋井市立山名小学校の松尾健央先生をお招きし、「ボール運動の授業づくり」をテーマに、実技を通して43名の参加者が学びを深めました。研修後、松尾先生は「各校でどんどんアレンジをして活用してください。」と仰っていました。一部ですが、教えていただいた内容を紹介しますので、ぜひ各校で御活用ください。

☆授業のねらい☆

ポイントは「教師自身や、子どもへの問いかけ」

[知識・技能]

ボール操作の技能や、ボールを持たないときの動きを身に付けさせることを目指す。それはなぜ？

⇒指導者がイメージできていることが大切。(ゲームで勝つため、得点するため など)

[思考力・判断力・表現力]

思考させるのは作戦だけではない。「今、どんな活動が必要？」などの発問で、活動や思考の幅が広がる。

[学びに向かう力、人間性等]

勝ち負けやルールを受け入れる態度の育成を目指す。それがなぜ必要なのかを問いかけ、個別に支援をしながら、粘り強く伝え続けることが大切。



☆夢中にさせるために☆

キーワードは「全員参加」「得点できる」

①ルールの工夫、②コートの工夫、③用具の工夫が大切。

これらは、実態に応じて変更したり、児童と話し合いながら決めたりする。

その競技の特性を意識することが大切。「手を使えるサッカー」は楽しいのか。）



☆単元の組み立て☆

「ゲームのタイミング」

ゲームは第1時から行う。技能が十分ではないためうまくゲームは進まないが、どんな力が必要なのかを児童が感じることで、第2時からの学習につながっていく。

時間配分の変化

授業を重ねるごとに基礎技能を身に付ける時間を短くし、ゲームの時間を伸ばすなど、時間の使い方を変化させていくことが大切。



☆1時間の組み立て☆

ACP については Athlete142 を参照

・準備運動

その運動で使う部分のストレッチや ACP など、内容に応じて変化させていく。

・基礎技能を身に付ける時間

上達セット……基礎技能を高める補助運動をセットにして、毎時間行う。

タスクゲーム…メインゲームにつながる簡単なゲーム。

・チームで考え実践する時間

選択肢を用意して活動を選ばせることで、児童が思考する場面を作り出す。

・メインゲーム

・振り返り

